ふれあうナカマ　育む　見守る　ちょっと近くない？

学校は地域と共に歩んでいます。宮城県内の小中学校の様子、自慢できることを、児童・生徒が紹介します。

えっ？　育む　見守る　ふれあうナカマ

わが校 わがまち スクール通信

大街道小　手作りの出店 仲を深める

これがイチオシ

合い言葉は「あいうえ」

大街道小学校には「あいうえ大街道小学校」という合言葉があります。「あい」さつが飛び交い、心と体を「う」ごかし、「え」があおふれる大街道小という意味が込められています。

去年は特に「あいさつ」に力を入れました。毎月１回、「あいさつ運動」や、あいさつの輪が広がるように「あいさつの虹」の活動を行いました。話したことがなかった人とも、つながりを深めることができました。

これからも合言葉を大切にして、笑顔あふれる大街道小にしたいです。

学校名　石巻市立大街道小学校
所在地　宮城県石巻市大街道南１の３の１
創　立　1980年
電　話　0225(96)3123
校　長　小泉　一樹
児　童　218人

全校で楽しむ「フェス」

私たちの学校、大街道小学校には、全校で楽しむ「かいどうっ子フェスティバル」があります。

５、６年生が所属する六つの委員会がそれぞれ店を出し、１～４年生はスタンプラリーをしながら出店を回って楽しむ行事です。５、６年生は、楽しんでもらえるように一生懸命準備をします。

２０２４年度の出店は、お化け屋敷、昔の遊び、脱出ゲーム、計算迷路、風船バレー、写真当てクイズでした。どの店も、みんなが笑顔で楽しく遊んでいました。私たちも、みんなが喜んでくれてうれしかったです。

１～４年生は、遊び終わると１番楽しかった出店を選んで投票します。そして、エンディングセレモニーで、投票の結果発表を行います。24年度の１位は保健委員会のお化け屋敷でした。

かいどうっ子フェスティバルは、学校全体が盛り上がり、学年を越えて仲が深まる大街道小のみんなが大好きな行事の一つです。25年度は24年度よりさらに盛り上がるかいどうっ子フェスティバルにしたいです。

出店で楽しく遊ぶ様子

編集委員　阿部堯太、門脇のどか、菅野大成、菊地一路、木村奏来、佐野なな子、松本弓直（６年）
指導教員　喜藤実咲、阿部史江、佐藤璃久（転任）

次回は
宮野小（栗原市）
中野栄小（仙台市）

南光台小　ボランティアへ花束贈る

心を込めて「感謝の会」

南光台小学校は、学校をきれいにしてくれたり、安全を守ってくれたりしているボランティアの方々に感謝の気持ちを伝える「ボランティア感謝の会」を行っています。

会では、各学年から手作りの花束や折り紙、全児童で歌う「ありがとうの花」をプレゼントとして贈ります。私たちはこの会のために歌の練習やたくさんの話し合いをして、頑張っています。

ボランティアの方々からは、「心のこもったプレゼントに感動しました」や「ボランティア感謝の会はとてもうれしいし、とても楽しい」など、たくさんの感謝のお言葉をいただきました。

校長先生からは、「７００人のありがとうが伝わり感動しました」との言葉をもらい、感謝の気持ちが見ている人にも伝わっていることが分かり、とてもうれしいし、たくさん練習をして良かったと思いました。

私たちは、学校や児童のためにボランティアをしてくださっている方々に、これからも感謝の気持ちを持って学校生活を送ろうと思います。

ボランティアの方々を迎える子どもたち

編集委員　鈴木舞乃、片平さら、沢崎愛、内村百恵、石田音羽、清水俊介、佐々木璃空、笹谷匠、守屋翔太、八鍬和忠（３月卒業）
指導教員　桜井千紘、早坂敬也

これがイチオシ

教室回りあいさつ活動

南光台小学校では、休み時間に全教室を回ってあいさつをする活動「あいさつパトロール」をしています。

以前は、朝に校舎の前に立ってあいさつをしていました。しかし、計画委員会の話し合いで朝に学校に来るのが遅い人が参加できないなどの問題が分かり、よりたくさんの人が活動に参加できるように2024年度からあいさつパトロールが始まりました。

この活動により学校中にあいさつがあふれるようになりました。これからも南光台小はあいさつを大切にします。

校　名　仙台市立南光台小学校
所在地　仙台市泉区南光台７の10の１
創　立　1970年
電　話　022(251)6330
校　長　早坂　順子
児童数　705人

NEWSニュース アラカルト

ムツゴロウが消える？

九州「干たく」など理由

日本では九州の有明海などにすむ魚「ムツゴロウ」の数が世界的に減り、このままでは地球上から姿を消してしまうとして環境団体「国際自然保護連合（ＩＵＣＮ）」が注意を呼びかけています。浅い海の水を抜いて陸に変える「干たく」などで、すみかが少なくなったことが理由と考えられています。

ムツゴロウは陸でも水中でも息ができ、海の水位が下がった時に現れ、泥や砂の上で活動します。以前は長崎県の「諫早湾」にもたくさんのムツゴロウが暮らしていましたが、海の水をせき止めて、活動しやすい場所が消えたことで、ムツゴロウもいなくなりました。

韓国や中国でも、取り過ぎなどで数が減っています。ムツゴロウが暮らせる環境を守る取り組みが求められています。

とび上がるムツゴロウ＝佐賀県小城（おぎ）市

本のプロ 推しの一冊

嘘吹きアンドロイド
久米絵美里　著
ＰＨＰ研究所

今までより優しくなれる

「３組の田中くんって、アンドロイドなんだって」。中学１年生の理子は、幼なじみの鞠奈に突拍子もない話をされます。田中くんこと田中瑠卯は美少年で人気者。彼が突然、人工知能（ＡＩ）を搭載した「アンドロイド宣言」をしたと言います。

真面目で現実主義者である理子は、瑠卯がなぜそのようなことを言っているのかを突き止めるため、うそを見抜く能力を持つ友人の錯と鞠奈とともに瑠卯と話し、人間とＡＩの違いは何かを考えていきます。

なぜ瑠卯は自分をアンドロイドだと言ったのか、そして本当にそうなのか。真実が明らかになるにつれ、読者の皆さんも理子たちと同じように頭を悩ませると思います。本の中で出た結論が必ずしも正しいかは分かりませんが、読み終わった時、今までより人に優しくなれる本だと思います。小学校中学年から。

（宮城県図書館　渡辺温紀さん）